

## 令和4年度 学校評価アンケート（まとめ）

◇保護者【回答率 74.4%（35/47家庭）】

<保護者より> 総合評価 7.0 ⇒ 6.9 /10.0	【前期】	【後期】
◎教師は、生徒を公平に評価している	6.5	⇒ 7.2
◎教師は、生徒の間違った行動に対して毅然と指導している	6.8	⇒ 7.4
△生徒は、社会のルールや学校の規則を守っている	8.1	⇒ 7.3
△少人数指導・同室複数等で学習理解が深まっている	6.9	⇒ 6.2
△生徒は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる	5.7	⇒ 5.1
△生徒は、地域の人に対して大きな声で挨拶している	6.5	⇒ 6.1

◇生徒【回答率 98.0%（51/52人）】

<生徒より> 総合評価 7.9 ⇒ 8.2 /10.0	【前期】	【後期】
◎先生は、生徒を公平に評価している	8.0	⇒ 8.8
◎自分にとって学校は楽しく充実した場所である	8.4	⇒ 9.0
◎先生は、生徒をよく理解し、熱心に対応している	8.1	⇒ 8.7
△自分は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる	6.8	⇒ 6.4

### 総合評価

保護者においては、学校の教育活動に理解をいただいていることが分かる。特に、保護者や地域との関わりをできているとの評価をいただいたことは喜ばしいことである。しかし、その反面、生徒の様子の項目において、基本的なあいさつや家庭学習への取組、社会のルール・規律といった様子が気になるようで評価を下げている。特に、目標をもって学校生活が送れていないと感じられているところが気になる。

生徒においては、先生に対して信頼度が高く、前期よりも充実した学校生活を送れたと感じる生徒が多かったのは、体験学習の成果ではなかろうか。特に、「自分には、夢中になれるものがある」の質問に対して、評価が向上したことはうれしいことである。ただ、昨年に引き続き、保護者・生徒とも、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる割合が低いことも気になることである。

### 課題解決に向けて

- 1 家庭学習への取組意識への課題が残っている。授業者の家庭学習への関わりや課題の内容、出し方について、研修会を開催し、自ら進んで学習しようとする態度の育成を目指していく。
- 2 充実した学校生活を送っていることは結果からも分かるが、教育活動全体を通じて、自分の夢や志を抱き、語り合える環境の学校づくりを教職員一丸となって引き続き取り組んでいく。  
また、子どもたちの学校生活の様子を積極的な広報に努めていく。
- 3 職員に改めて、アンケート結果を示し、保護者の思いを知る。そして、その課題解決に向けた取組を生徒と共に改善を図る手立てを考え、教育活動全体を通じて実践していく。
- 4 今後も学校で取り組んでいることを広く周知を図っていく。また、コミュニティ・スクールとして、いろいろな機会を捉えて外部の声が学校に届くよう努めていく。